

豊島区長・秩父市長合同記者会見 質疑要旨

日時	令和元年7月10日(水) 午後1時00分～1時45分
出席者	区長、秩父市長、秩父市環境部技監、環境政策課長、広報課長
案件	豊島区と秩父市の連携による「としまの森」づくり

記者	予定地の現状の整備状況はどうなっているか。
秩父市環境部技監	55年生の広葉樹林の森。いわゆる雑木林。年を取った木はCO2吸収量が減ってくる。森林環境譲与税を財源に伐採をするなど整備し、森を若返らせることでCO2吸収量を増やす。
秩父市長	現状ほとんど整備されていない森を豊島区が整備し植樹をしていく予定。
豊島区長	現地は自然そのもの。いい場所を提供いただいた。古い木を伐採し、道を作り回遊できるような場所に整備したい。
記者	①森林環境譲与税を利用したカーボンオフセット事業は他自治体の実績はあるのか。 ②イベントが行われる10月19日がとしまの森のオープン日なのか。
環境政策課長	①カーボンオフセット事業自体は23区中5区で実績がある。森林環境譲与税を活用して始める点では23区で初。 ②10月19日は区民の方に記念植樹をしてもらうイベント。そこまでに整備をしていきたい。
記者	①4月施行の森林環境譲与税を利用した事例は全国でも初の事例になるのか。
秩父市長	姉妹都市では初。秩父市は山の整備が得意。10月にはきれいな状態で豊島区に渡せると思う。
記者	費用負担はどうなるのか。
秩父市環境部技監	森林整備は豊島区。受け入れ準備態勢を整えるという意味で秩父市も一部負担がある。
記者	取り組みを拡大するということが、秩父市で拡大していくのか、他の自治体との取り組みを進めるのか。
豊島区長	他自治体から声がかかれば積極的に取り組んでいきたい。秩父市のとしまの森についても今後拡大を検討していく。両方やっていきたい。
記者	としまの森の土地の所有者は秩父市か。
秩父市長	そのとおり。
豊島区長	区民のアンケート等を見ても緑を求めている区民が多い。協定をきっかけに区民の方が自然に触れ合える機会を増やしていきたい。
記者	としまの森は秩父市民も利用できるのか。
秩父市長	公園と隣接。市民も利用する可能性はあるが主体は豊島区民。
記者	としまの森周辺のみ整備されることで違和感が生まれないか。
秩父市長	違和感はないと思う。整備されることできれいになる。

秩父市環境部技監	10月の除幕式には区長が文字を書いた木製の看板もお披露目する。整備されることは秩父市民にも喜ばれると思う。
豊島区長	森林整備の経験が豊富な秩父市と密に連携し、整備していきたい。